

がん情報ラジオについて



当センターでは、がんセンターのスタッフががんに関する話題を紹介していくラジオ番組「がん情報ラジオ」をエフエムなとりにて放送しています。
 放送時間は、毎週金曜日夕方5時30分から5時43分、翌日土曜日の午前9時16分から9時29分に再放送も行ってあります。
 また、がん情報ラジオはYouTubeにて過去放送分もすべてご視聴いただけます。がん情報ラジオでご検索いただくか、右記のQRコードからご視聴いただけます。
 QRコードを読み取りチャンネル登録をしていただくと幸いです。
 6月は、消化器外科の三浦康医師と小野由美子看護師でお送りします。



外来新患診療体制表 2020年5月現在

(宮城県立がんセンター)

診療科	曜日	月	火	水	木	金
血液内科		●	●		●	●
腫瘍内科		●		●		●
呼吸器内科		●	●	●	●	●
消化器内科		●	●		●	●
頭頸部内科				●		
緩和ケア内科				●		●
呼吸器外科				●		●
消化器外科						●
乳腺外科	●				●	
整形外科			●		●	
形成外科			●			●
脳神経外科	●			●		●
泌尿器科	●			●	●	
婦人科	●		●		●	
頭頸部外科	●		●		●	
放射線治療科	●		●	●	●	

診療受付時間：午前8時30分～11時00分 TEL 022-384-3151 (代) FAX 022-381-1169 (地域医療連携室)



交通案内

J 桜交 R 東北本線名取駅下車、バスまたはタクシーを利用
仙南交 名取駅西口から「県立がんセンター線」(なとりん号)を利用
自家用車 名取駅西口から「北目上原線」(なとりん号)を利用
 仙台南インターからは、国道286号バイパス経由
 県道仙台・岩沼線を利用 (所要時間約15分)

地域医療連携室のご案内

地域医療機関の先生方からご紹介を受けた患者さんの診療予約をお取りしてスムーズな受診ができるようにしております。

- 受付 午前8時30分～午後5時15分
- TEL (022) 381-5152 (直通)
- (022) 384-3151 (代) 内線123
- FAX (022) 381-1169 (地域医療連携室)

宮城県立がんセンター
 〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山47の1
 電話(代表) (022) 384-3151 FAX(企画総務課) (022) 381-1168

□マークの3本の柱は「治療、予防、研究」を、上の「まる」は患者さんを表わしています。3本の柱が、患者さんを支えるという意味です。

2020. 5 Vol.46

地方独立行政法人宮城県立病院機構

がんセンター 便り



宮城県立がんセンター地域医療連携室

肺がんの最新の検査と薬物治療

呼吸器内科診療科長 福原 達朗

世界中で新型コロナウイルス肺炎が猛威を奮っており、どの御施設も対応で大変な状況と存じます。当センターもご不便をおかけしており、申し訳ありません。

さて、今日は肺がんのお話をさせていただきます。呼吸器内科が担当するのは、主に肺がんの診断および薬物治療と放射線治療です。薬物治療は、近年、分子標的治療と免疫治療が急激に進歩しています。分子標的治療とは、患者さん一人一人のがん細胞の無数の遺伝子変異の中で鍵となる遺伝子異常を標的とし、その異常な遺伝子に対応した薬剤を用いた治療です。従来は一つ一つ遺伝子毎に検査で確認していましたが、2019年より遺伝子パネル検査で複数の遺伝子変異をまとめて調べることが、保険診療で可能となりました。当科では、超音波ガイド下での体表面からの針生検や、最新のナビゲーションシステムを用いた超音波気管支鏡検査などで、できるだけ大量のがん細胞を安全に採取し、遺伝子検査に用いて最適な治療を探すことを前提にしています。免疫治療については、京都大学の本庶佑先生がノーベル賞に輝いたのは、記憶に新しいところです。2019年には、免疫治療と従来の抗がん剤の併用療法が保険承認されました。副作用がより複雑化する可能性などの課題はありますが、強力な治療を受ける機会を、患者さんが逃さないようにするのが当科の役割の一つと考えています。ただし、新型コロナウイルス肺炎が流行している現在、抗がん剤、分子標的治療や免疫治療の標準治療を安全に行う方法については、画一的ではない慎重な検討が必要です。

従来よりも感染対策のため時間を頂いておりますが、病院の機能が保たれている限りは、肺がんの診療を継続します。本稿がお手元に届く頃には、新型コロナウイルス肺炎が収束に向かい、患者さんが安心して検査・治療を受けられるようになってることを願っています。いつでもご相談下さい。今後ともよろしく申し上げます。



向かって左より
 もりた まみ 小林 真紀 福原 達朗 (診療科長) 鈴木 綾 渡邊 香奈
 (2019年撮影)

究極の低侵襲手術と集学的治療

呼吸器外科診療科長 **阿部 二郎**

1. 患者さんの体の負担を減らすために

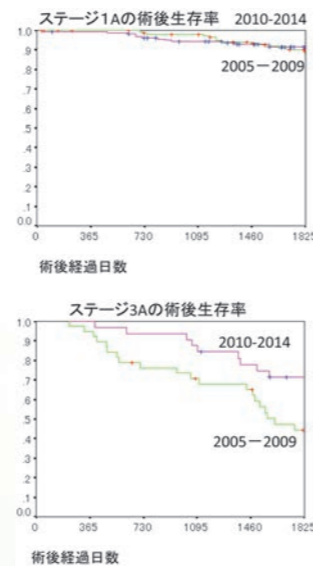
今日、本邦では呼吸器外科手術全体の80%が胸腔鏡下に行われています。当科では2016年に胸腔鏡手術を導入し、当初2年間は症例を選択して行ってきました。2018年に新たな術者の修練を開始し、胸腔鏡手術の割合は飛躍的に増加しました。手術の低侵襲化を進める病院の方針もあり、2019年からは全ての症例を胸腔鏡手術の対象としています。



当科の標準アプローチは切除した肺を摘出するためのアクセス創を含めて全部で3ないし5箇所ポート孔を設ける方法です。術後3-4日目には退院が可能となり、開胸手術の時代と比較して術後入院期間はかなり短縮しました。さらなる技術的進歩として、2019年後半からは約4cmのアクセス創のみで手術操作を完結させる単孔式胸腔鏡手術を導入しました。これ以上は傷を小さくすることも減らすこともできない、究極の低侵襲アプローチです。(文責：川村昌輝)

2. 万一再発してもがんと共存していく時代

2010年~2014年に当科で完全に切除し、術後経過を観察した非小細胞肺癌352例の5年生存率を病理病期別に調査した結果を示します(比較のため、括弧内は2010年の学会全国調査の値を示します)。病理ステージ1A 91.5% (88.9)、ステージ1B 80.1% (76.7)、ステージ2A 64.3% (64.1)、ステージ2B 56.1% (56.1)、ステージ3A 71.4% (47.9)。全てのステージについて当科の成績は全国平均を上回ります。とくに術後再発される方の多いステージ3Aについては2010年の全国成績を大きく上回る良好な成績となっていますが、これはイレッサやオプジーボに代表される薬物療法の目覚ましい進歩の恩恵を最大限利用できる環境にあるからだと思います。「都道府県がん診療連携拠点病院」である当院において、当科の強みの一つは、世界最先端の肺がん薬物療法を行っている呼吸器内科や、高度な放射線治療を提供する放射線治療科の先生と容易に相談・連携できることです。



再発リスクの高い方への術後補助治療のみならず、残念ながらがんを再発された患者さんに対しても高水準で集学的治療を行い、長期間がん闘争の環境を整えています。

(文責：阿部二郎)



向かって左より 片平真人・阿部二郎(診療科長)・宮部真悟・川村昌輝

新任医師紹介

- ①診療科
- ②氏名(フリガナ)
- ③出身地
- ④挨拶・抱負

令和2年4月1日付け
 ①消化器内科
 ②日下 順(クサカ ジュン)
 ③宮城県
 ④4月より赴任致しました。日下と申します。消化器内科の中でも専門としている大腸疾患を中心に診療を行っていきたくと考えております。何卒宜しくお願い致します。



令和2年4月1日付け
 ①消化器内科
 ②太田 健介(オオタ ケンスケ)
 ③宮城県大河原町
 ④私は自治医大出身で、初期研修後6年間、主に一般内科として宮城県内の地域医療に従事してまいりました。消化器病に関して専門的な技術、知識を身につけ、安心感のある医療を提供したいと考えております。今後ともよろしくお願いたします。



令和2年4月1日付け
 ①呼吸器外科
 ②宮部 真悟(ミヤベ シンゴ)
 ③京都
 ④5年ぶりに宮城県に戻って参りました。コロナの影響もあり慣れるまではご迷惑をおかけすることも多いかと存じますが何卒よろしくお願い致します。



令和2年4月1日付け
 ①形成外科
 ②今井 利郎(イマイ トシロウ)
 ③長野県松本市
 ④2014年卒です。7年目の年になりました。おそらく1年間と短期になるかとは思いますが、なにとぞよろしくお願いたします。



令和2年4月1日付け
 ①泌尿器科
 ②成田 玲奈(ナリタ レナ)
 ③仙台市
 ④前任地は岩手県磐井病院で勤務しておりました。がんセンターでの勤務は初めてのことで、さらに県南地方での勤務も初めてとなり、至らぬ点などあるかと思いますが、真摯に担癌患者のみなさまの診療に携わっていきたく思っております。今後とも、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



令和2年4月1日付け
 ①泌尿器科
 ②林 夏穂(ハヤシ ナツホ)
 ③仙台市
 ④この度宮城県立がんセンターに赴任してまいりました。泌尿器科癌に対する治療を中心とし、排尿QOL改善についても皆様のお役に立ちたいと思います。よろしくお願い致します。



令和2年4月1日付け
 ①精神腫瘍科
 ②山下 元康(ヤマシタ モトヤス)
 ③福岡県
 ④よろしくお願い致します。がん医療関連では、ホスピス勤務しておりました。その後の精神科勤務で殆どの知識やアートを忘れましたが、まずはメンタル面のサポートでがん診療に貢献できれば幸いです。



新任診療科長紹介(令和2年4月1日付け)

消化器内科 蛇江 誠
 精神腫瘍科 山下 元康

退職医師の紹介

内海 潔	消化器内科	(令和2年3月31日付け)
野村 綾	精神腫瘍科	(")
酒寄 真人	腫瘍内科	(")
菊地 直彦	呼吸器外科	(")
村川 祐希	泌尿器科	(")
林 昌伸	形成外科	(")
宮崎 武文	消化器内科	(令和2年4月30日付け)